

令和7年度 市民公開講座 アンケートまとめ

日時 令和8年3月25日(水) 14:00~16:00

場所 福島テルサ FTホール

テーマ 「まだまだ現役、でもそろそろ考えてみよう～自分らしい生き方と逝き方～」

第1部 『在タッチ』の活動と“人生ノート”“在宅医療”について

第2部 市民スピーチ&インタビュー

発表者 福島市陸上競技協会

大内 政良さん

麺の行商

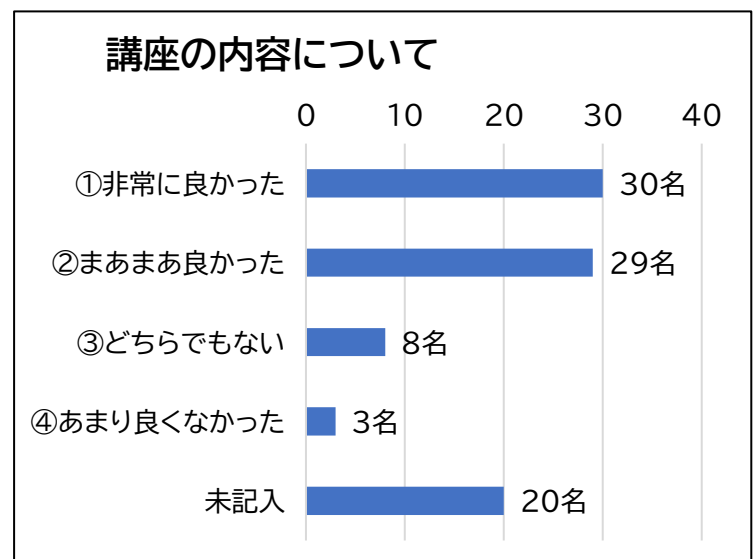
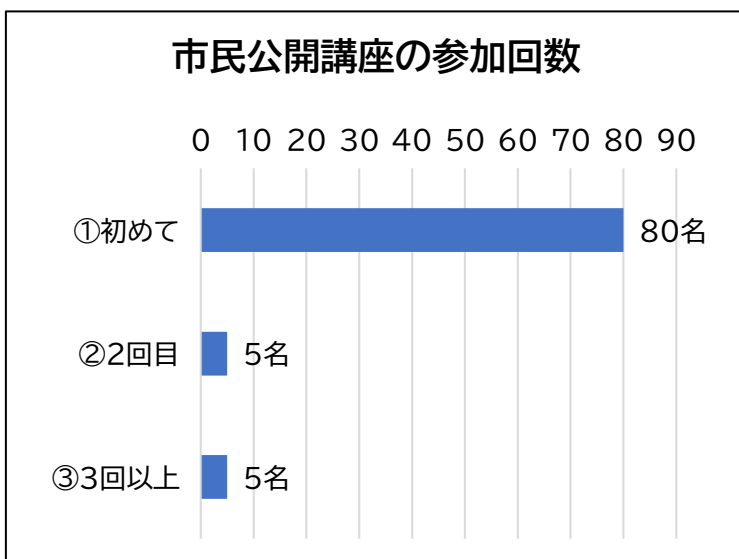
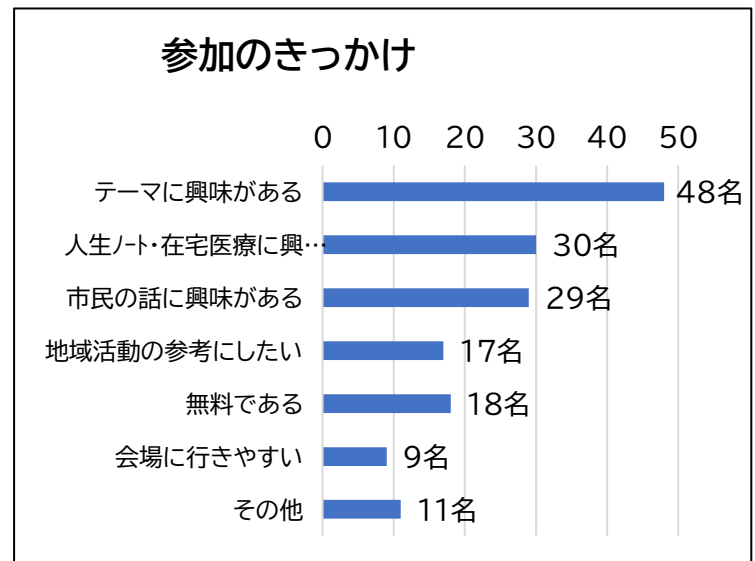
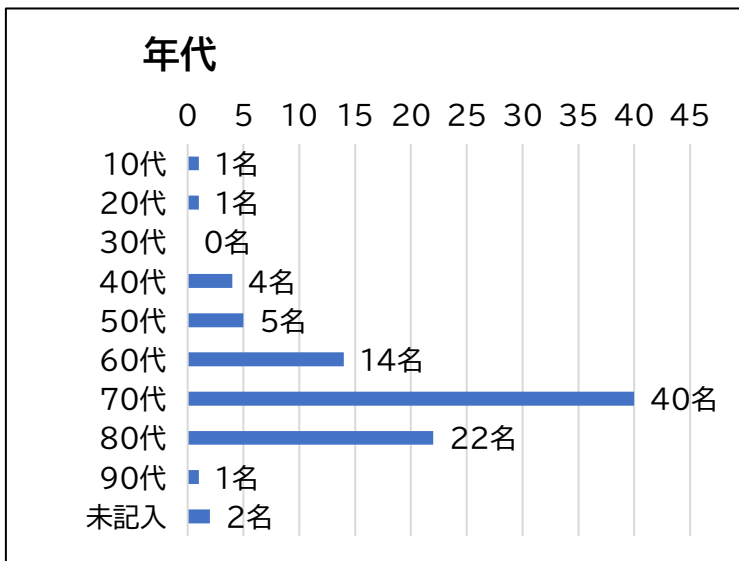
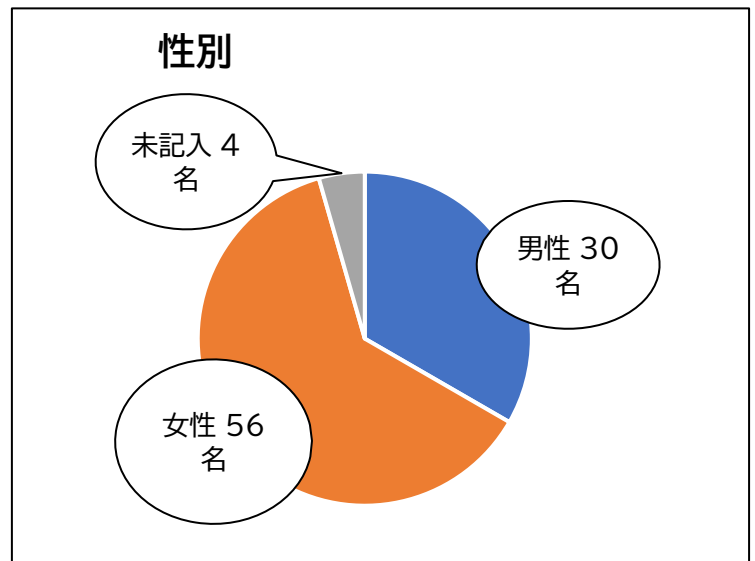
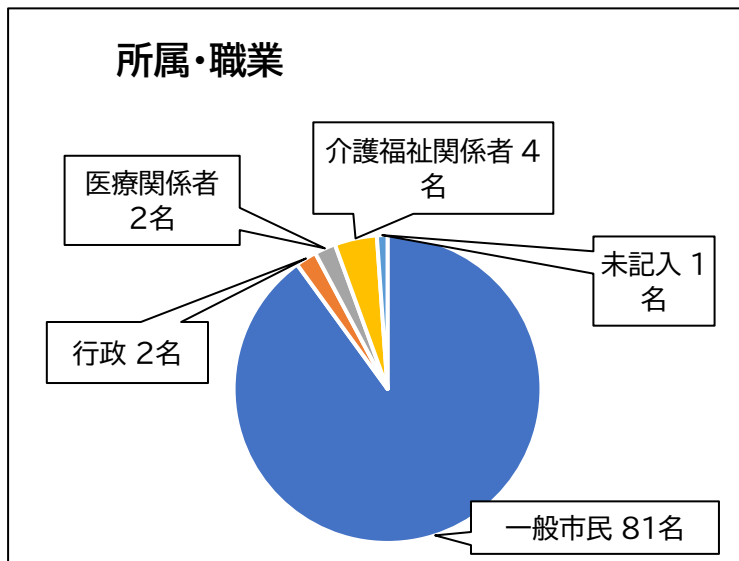
竹内まりあさん

聞き手 『在タッチ』事務所長

田中 嘉章

参加者: 159名 (聴力障がい3名、車イス1名)

アンケート回答者: 90名



印象に残ったこと(抜粋)

●第1部の内容

福島市では在宅医療を望めばかなえられるという事を知り安心しました。

自分の望む命のしまい方ができそうだと思えた事。

人生ノートについての情報を知る事ができ地域の方に教えてみたいと思います。

在タッチの講座のことを町会に話して、講座を開いてもらいたいと思いました。

在タッチの事を初めて知り、もしもの時どうするかという事を本気で考えました。

●第2部の内容

大内先生の内容が良かった。自分の考えと同じと思ってこれからも続けようと思う。

元気に頑張っているお二人に元気を頂きました。人と会話をするという言葉にはっとさせられました。

時間通り一けじめが大切。ものを増やさない。約束通り。備忘録。

毎日を時間通りに過ごすことが大事と考えている大内氏。言葉に「ああそれで良いのか」と安心した。

大内先生の最後の話「わたしの人生ノートの話」実体験は良かったです。

明るい言葉ポジティブな考えの竹内まりあ様はすごいです。

元気である事のありがたさを感じました。私も90代になりましたがこれまでと変わらず生きています。

笑って楽しという竹内まりあさんのお話が心に残りました。

老後の生活をしていく上で「人とのつながり」話し合いetcが重要。心身の健康維持のために。

いつものことながらと多くの親戚より近くの他人という言葉が本当だと思う。

お二人の元気に生きておられる等身大のお話がお聞き出来て良かったです。

本当に、地域の皆さんと交流が深い人のお話が良かった。形式ばっていない自然な姿が良かった。

お二人とも自分の生き方を自信をもって生きている。素晴らしいです。

市民スピーチは元気づけられとても参考になりました。

●全体的な感想

自分の逝き方について改める機会になりました。

人生ノートを少しずつ書いてみたいと思います。まりあさんはずっと現役なんだろうなあと感じた。

もう少しこれからの過ごし方を考えようと思いました。

田中さんの進行素晴らしかったです。神対応。第1部もっと時間かけて欲しかったです。

話がかみ合わないのもいいですね。田中さんが在宅にもっていかうとしても出来なくて大変でした。